

2026年3月27日

各位

株式会社富山第一銀行

大高建設株式会社との
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、大高建設株式会社（代表取締役社長 大橋 聡司）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを緩和する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

尚、本契約は富山県内では初のポジティブインパクトファイナンスを活用したSDGs私募債での資金調達となります。

2. 融資概要

契約締結日	2026年3月27日
借入人	大高建設株式会社
融資金額	50百万円
融資種別	私募債
資金使途	運転資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 大高建設株式会社

代表者	代表取締役社長 大橋 聡司
本社所在地	富山県黒部市宇奈月温泉 633-1
事業内容	総合建設業、再生可能エネルギー事業、海外事業、DX事業、温浴施設の管理運営事業
設立年月	1954年4月

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	インフラ工事における品質、技術力の追求
インパクトの種類	経済面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連SDGs	
対応方針	国土交通省工事における施工体制、施工状況、出来高及び出来ばえ、工事特性、創意工夫、社会性を向上させ、建設業界全体の技術力向上に貢献する
毎年モニタリングする目標とKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年3月期まで国土交通省工事の成績評定点を毎年81点以上にする （2023年3月期実績：対象工事4件、平均点80.25点、2024年3月期実績：対象工事6件、平均点79.67点、2025年3月期実績：対象工事6件、平均点80.33点） ※2028年3月期以降の目標は改めて設定する



大高建設株式会社

株式会社富山第一銀行

代表取締役社長 大橋 聡司氏

黒部支店長 寺田 健作

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：長瀬

TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：大高建設株式会社



2026年3月27日

株式会社 富山第一銀行

1. はじめに.	2
2. 会社概要.	3
(1) 企業概要	
(2) 経営理念/社是	
(3) 沿革	
(4) 組織図	
(5) セグメント構成	
(6) バリューチェーン	
3. 事業概要.	8
(1) 土木工事部門	
(2) 建築工事部門	
(3) フロンティア事業部門	
4. 安全衛生管理・品質方針・環境方針.	11
(1) 安全衛生管理	
(2) 品質方針	
(3) 環境方針	
5. 職場環境.	13
(1) 教育制度	
(2) ダイバーシティ	
(3) SDGs 宣言	
(4) 地域貢献活動	
(5) 企業 PR	
6. インパクトの特定.	17
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) 富山県の政策・戦略の確認～とやま未来創生戦略との確認～	
(5) 黒部市におけるインパクトニーズの確認	
(6) インパクトの特定	
(7) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
7. KPI の設定.	23
8. 管理体制とモニタリング	26
(1) インパクトの管理体制	
(2) モニタリング方法	

1. はじめに

富山第一銀行は、大高建設株式会社に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、当社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」および ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、大高建設株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取り組みを支援するため、大高建設株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	大高建設株式会社
調達形態	私募債
契約期間（モニタリング期間）	2026年3月27日から5年間
金額	50百万円
資金用途	経常運転資金

2. 会社概要

(1) 企業概要

社名	大高建設株式会社
代表者	代表取締役社長 大橋 聡司
本社	〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉 633-1
事業内容	総合建設業 再生可能エネルギー事業 海外事業 DX 事業 温浴施設の管理運営事業
創立年月	1946 年 4 月
設立年月	1954 年 4 月
資本金	20 百万円
売上高	2,366 百万円 (2025 年 3 月期)
従業員	72 名 (2026 年 2 月 28 日時点)
建設業許可	建設業許可 富山県知事許可 (特・般 - 4) 第 1111 号 宅建業許可 富山県知事 (5) 第 2562 号
登録	ISO9001 (認証登録番号 : 11972 - A) ISO14001 (認証登録番号 : 11972 - B) COHSMS (認証登録番号 : JC 207-3-N)
所属団体	一般社団法人富山県建設業協会 一般社団法人名古屋林業土木協会 一般社団法人斜面防災対策技術会 一般社団法人富山県火薬類保安協会
技術者	一級建築施工管理技士 8 名 一級土木施工管理技士 20 名 一級建設機械施工技士 1 名 一級造園施工管理技士 1 名 一級舗装施工管理技術者 1 名 一級建設業経理士 1 名 宅地建物取引士 2 名
グループ会社	【伊藤建設株式会社】 〒937-0033 富山県魚津市島尻 1346 TEL : 0765-32-8380 【三和ポーリング株式会社】 〒939-8072 富山県富山市堀川町 464-2 TEL : 076-424-2617 【ミラテック株式会社】 〒938-0802 富山県黒部市若栗 1403 TEL : 0765-54-0571 【大高ミャンマー】 Address : No(479) 5A, Aye Yeik Thar (2) Street, Bahan Township, Yangon, Myanmar.

(2) 経営理念/社是

大高建設は、創業から技術と情熱で困難を乗り越え、時代の最前線を切り拓く存在であり続けてきた。下記企業理念のもと、これからも地域の安心と安全を守り、次世代に誇れる未来を築いていく。

道を切り拓く

Open The Way

Mission

大きな仕事を高い技術力で成し遂げ、
地域の人々の安心と安全を守る

地域の守り手として、地域の未来の礎をつくります。

Vision

黒部川の防人

大自然と共存し、地域の人々の暮らしを守る象徴として、黒部川流域の守護者であり続けます。

Value

企業は人なり

人こそが企業の財産です。社員一人ひとりの成長と幸福を重視します。



ロゴ付のぼり旗

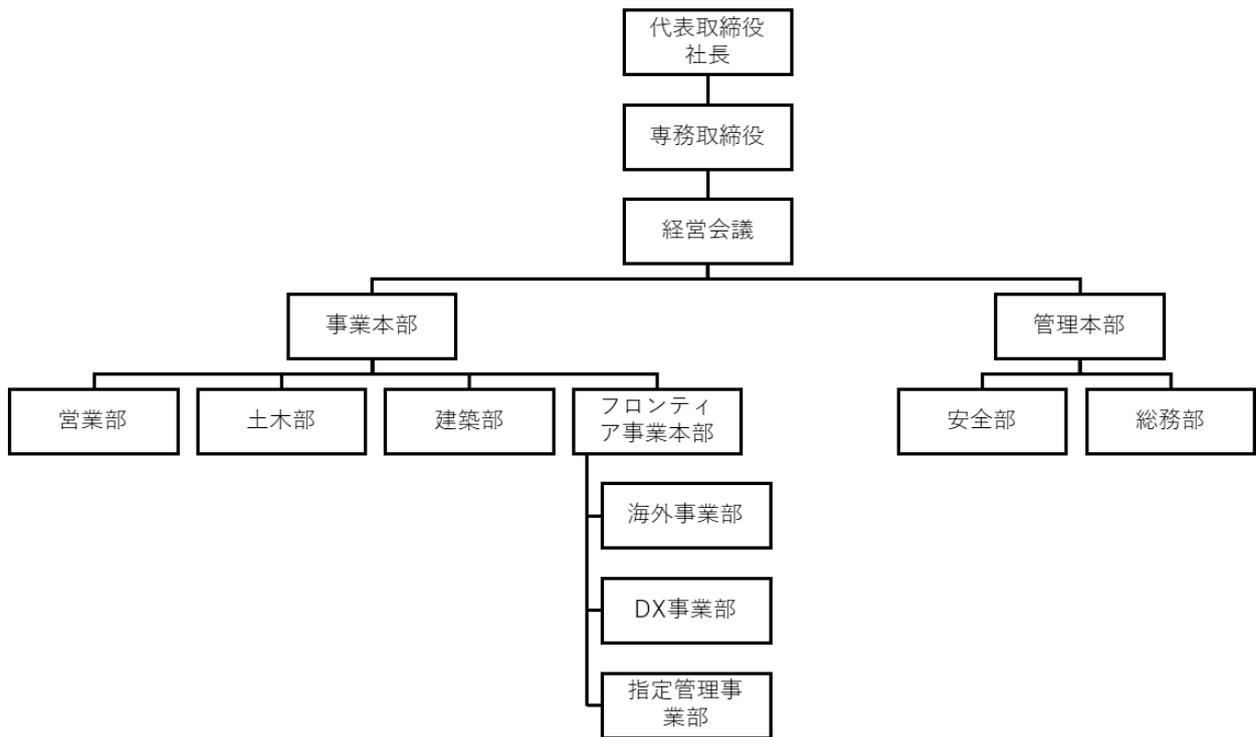


黒部奥山の河川工事

(3) 沿革

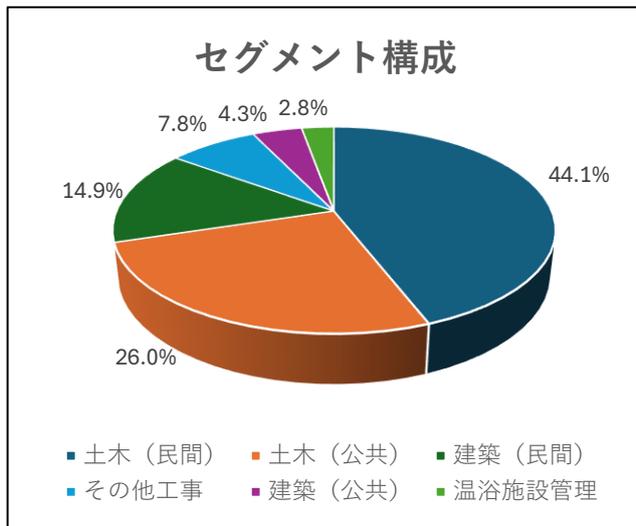
年月	概要
1946年 4月	富山市東田地方にて大橋組を創業
1954年 4月	大高建設株式会社を設立、黒部市宇奈月町に出張所を開設
1966年 4月	本社を黒部市宇奈月温泉 633 - 1 に移転
1981年 4月	新社屋完成
2002年 10月	ISO9001 を取得
2010年 8月	伊藤建設株式会社を子会社化
2013年 12月	三和ボーリング株式会社を子会社化
2016年 3月	ミラテック株式会社を子会社化
2017年 6月	イクボス宣言を策定、富山県男女共同参画推進事業所として認定
2018年 3月	健康経営優良法人として認定
2018年 6月	OTAKA MYANMAR CO.,LTD を設立
2019年 6月	SDGs 宣言策定
2019年 12月	建設業労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS/コスモス）認定取得
2020年 2月	令和元年度働き方改革推進企業表彰富山県知事賞を受賞
2022年 3月	健康企業宣言（Step2）認定
2023年 4月	DX 事業開始
2023年 5月	富山県部活動応援企業に登録
2024年 4月	指定管理者として温浴施設の運営管理事業開始、ホワイト企業認定
2024年 6月	えるぼし認定
2024年 9月	とやま女性活躍企業認定
2025年 3月	健康経営優良法人 2025（中小企業部門（ネクストブライト 1000））認定
2025年 7月	くるみん認定

(4) 組織図



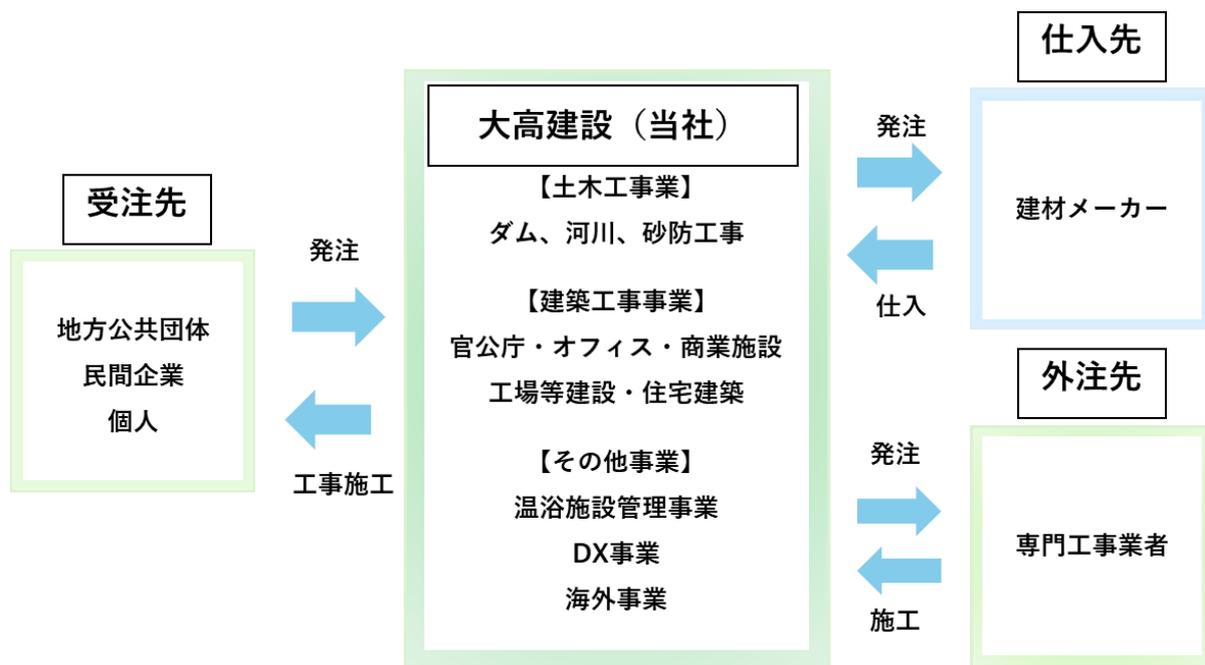
(5) セグメント構成

当事業セグメントは、ダム工事、河川工事、砂防工事を中心とした土木工事が70%と売上の大半を占める。



セグメント種類	細目	割合
土木 (民間)	ダム、河川、落石対策	44.1%
土木 (公共)	砂防	26.0%
建築 (民間)	オフィス、商業施設、発電施設	14.9%
その他工事	貨車荷積み荷卸、除雪	7.8%
建築 (公共)	官公庁建設工事	4.3%
温浴施設管理	湯めどころ宇奈月、とちの湯	2.8%
合計		100.0%

(6) バリューチェーン



3. 事業概要

(1) 土木工事部門

当社は富山県東部の黒部川流域を主たる舞台として電源開発や水害を防ぐための治水工事を行ってきた。黒部川は標高 3,000 メートル級の北アルプスの山から 85km という短い距離を一気に下る日本屈指の急流河川であり、土石流や水害が頻発してきた「暴れ川」として知られている。

そのような険しい環境の中で、当社は「安全最優先」の意識のもと、「黒部川の防人」としての自負を抱き、激甚化する災害から地域を守るべく、事業活動を行っている。

メインの事業フィールドとしている黒部奥山は、地上の移動手段は黒部峡谷鉄道であり、現場に向かう際や資機材運搬の際には、トロッキ電車を利用する。トロッキ電車で載らない重機は分解してトロッキ電車やヘリコプターで運んだあと再度組み立てを行うなど、特殊な方法を取っており、他社が真似できない技術を保有する。

また、ICT 施工や重機の無人化施工などを導入しており、業界では先駆けて建設 DX に力を入れている。

これまでの施工実績や建設 DX への取り組みを背景に、電源開発、砂防、河川護岸、道路工事など、幅広い分野の受注が可能な体制を築き、現在では難易度が高い工事を積極的に取り組んでおり、数多くの表彰を受賞している。

※ICT 施工とは、建設現場で情報通信技術 (ICT) を活用し、測量・設計・施工・検査までの全工程をデータでつなぎ、施工精度と生産性を向上させる工法。従来の手作業や経験に依存した施工と異なり、3 次元測量データをもとに ICT 建設機械を自動制御することで、施工精度の向上や作業の効率化を実現する。

(施工実績)

河川ブロック工事、ダム落土砂対応工事、ため池保全工事、砂防堰堤工事ほか



令和7年度下新川海岸ブロック製作その1工事



宇奈月ダム尾ノ沼崩落土砂対応対策工事 (無人バックホウを利用)



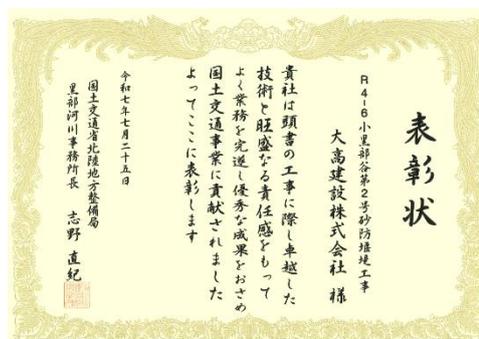
ため池緊急保全業務 (石川県七尾市・能登半島地震)



R5 黒薙川第2号下流砂防堰堤工事



令和7年度工事成績優秀企業認定書



表彰状 R4-6 小黒部谷第2号砂防堰堤工事



表彰状 安全管理優良受注者

(2) 建築工事部門

当社の建築工事部門は、地域住民の生活に密接に関わる建築物を数多く手がけてきた。地域を守る消防署や交番、地域文化を象徴する温浴施設や旅館、地域住民同士をつなぐ市民交流センターや個人住宅まで多岐にわたる施工実績を有している。

建築物は、地元の風土や文化を尊重した、長く愛される空間を提供している。厳しい自然環境やアクセスなど制約の多い山間部において、土木部とシナジー効果を発揮している。※BIM や ICT などの最新技術を積極的に活用し、効率的かつ精度の高い施工、経験豊富な従業員による迅速かつ柔軟な対応、顧客目線の提案によって、価値の高い建築を実現している。

※BIM とは、単なる建築モデルではなく、部材の仕様、材料、面積、性能、仕上げなどの属性情報を含む「建物のデータベース」として機能する。これにより、設計から施工、維持管理まで全工程で情報を一元化し、業務効率化や品質向上を実現する。

(施工実績)

官公庁、事務所・オフィス、マンション、商業施設、倉庫・工場ほか



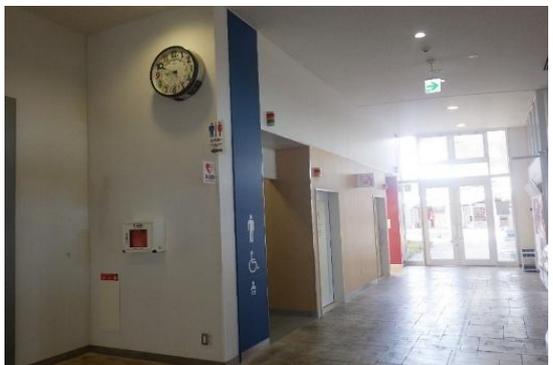
宇奈月温泉街 宿泊施設 館内改修工事



内山住宅外壁改修工事



想影展望台改修工事



R1 富山管内道路附属施設整備工事



宇奈月消防庁舎整備工事



株式会社シンエツ本社新築工事

(3) フロンティア事業部門

当社のフロンティア事業部門は、海外事業部、DX 事業部、指定管理事業部の3つの事業部で構成される。創業の精神である「Open The Way」のもと、積極的なチャレンジ精神で社会の課題解決に先駆けて取り組んでいる。

➤ 海外事業部

発展途上国の成長に資する事業を行うために海外事業部を設立。現在ではミャンマーに進出し、現地のスタッフやパートナー企業と密にコミュニケーションを取りながら、建設事業や飲食事業を行っている。



当社と現地パートナー企業

➤ DX 事業部

生成 AI やメタバースを活用し、VR コンテンツ制作・動画制作・SNS での情報発信を行っている。VR を活用した遠隔現場見学や重機操作シミュレーションと AI によるデータ分析を組み合わせることで、施工現場の可視化・安全性向上を目指している。当社では、VR を活用した除雪重機シミュレーターを開発。年間を通じてトレーニングできる環境を提供することで、豪雪地域での除雪人材確保や、温暖地域での突発的な降雪における混乱を防ぐことが期待される。除雪重機シミュレーターは当社以外でも活用されており、地域課題解決の一翼を担っている。

就職活動を行う学生を対象とした企業説明会では、VR を活用した土木工事での活用事例を実際の専用ゴーグルを用いて紹介。イベント時においても DX 事業部の取り組みを紹介し、採用力強化や、建設業界の従来の 3K「きつい」「汚い」「危険」からのイメージアップを図っている。



河川での作業



無人化施工



除雪重機シミュレーター

➤ 指定管理事業部

本社所在地である黒部市宇奈月温泉にある2つの温浴施設（湯めどころ宇奈月、とちの湯）の管理・運営を行う。地域住民や観光客に親しまれる温浴施設となっており、地域貢献に繋がっている。

当社の想いである「安全最優先」を、温浴施設の管理でも活かしており、安心・安全・快適な時間を利用者へ提供。今後も利用者の健康増進と福祉の向上を図り、地域外から訪れる人々と地域住民との交流拠点の役割も果たしていく。



湯めどころ宇奈月

4. 安全衛生管理・品質方針・環境方針

(1) 安全衛生管理

① COHSMS の認定

建設業 COHSMS とは、建設業に特化した労働安全衛生マネジメントシステムであり、労働者の安全と健康を確保するための認定である。厚生労働省によって平成 11 年に制定された。

当社はコンパクト COHSMS (COHSMS の中小企業版) の、全国第一号認定事業者であり、黒部峡谷の厳しい自然環境下で地域の守り手としての職責を全うしている長い歴史と、安全最優先を重要視して安全対策を行っていることが評価された。現在は企業規模拡大に伴い COHSMS 認定を取得している。

本マネジメントシステムは建設事業者と従業員、協力企業が一体となって、「計画(P)-実施(D)-評価(C)-改善(A)」のサイクルを回すことで、労働災害の潜在的な危険有害要因をなくし、健康の増進と快適な職場づくりを実現し、当社の安全衛生水準の継続的・段階的向上を図っている。



② 女性社員による衛生環境パトロール

当社では、月に 1 回女性社員による衛生環境パトロールを行っている。女性のきめ細やかな視点を活かして建設現場の安全性や衛生環境を確認・改善する目的である。

③ 健康増進に向けた「健康だより」の発行

当社では、月に 1 回「健康だより」を発行し、月別健康テーマや、業務特化型のヘルスケアなどについて健康衛生課の常駐看護師が作成し社内チャットで共有し、従業員の健康増進を図っている。



④ 黒部奥山地域作業所に看護師の配置

当社では、黒部奥山地域作業所に看護師を配置し、不測の事態があった場合も初期対応を迅速に行い、判断を行える体制を整えている。現場で働く従業員の健康と安全が守られている。

⑤ 安全大会・安全衛生委員会

全社員参加の年 2 回の安全大会と月に 1 回の安全衛生委員会で、当社の特定現場の安全管理事例や他社事例を周知し、安全への意識醸成に努めている。

(2) 品質方針

当社は2002年から品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得。その後も認定を継続しており、高品質な施工で地域インフラを支えている。



顧客の期待やニーズを的確に把握し、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善することによって、顧客満足度の向上を目指す。

2023年9月10日

(3) 環境方針

当社は2007年から環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得。その後も認定を継続しており、自社の事業活動が環境に及ぼす影響を管理することで環境負荷低減を図っている。



“自然との共生”という理念のもと、環境負荷の抑制・自然環境の保全・より良い環境の創造を促進し、持続可能な循環型社会の形成に寄与する。

2023年9月10日

当社は地域に眠る再生可能エネルギーのポテンシャルにいち早く着目。小水力発電設備の建設・管理を行っている。また、効率的な電気利用などを目的とした低速電気バスの活用に関与することで地域活性化にも貢献している。

将来的には、地中熱ヒートポンプの利活用、地熱発電の開発調査をするなど、建設会社としての知見を活かし、実現可能性を探っていく方針である。



低速電気バス EMU

5. 職場環境

(1) 教育制度

当社では、共に挑戦し、学び合いながら成長できる環境を整備している。

① 新入社員研修

社内研修の他、建設業協会や商工会議所主催の外部研修に参加。業界知識、ビジネスマナー、安全意識の習得を図り、早期の職場定着と人材育成に繋げている。

② 資格支援制度

業務に必要な資格取得費用は全額会社負担し、資格取得後は資格手当を支給している。また、対象資格取得者は毎年4月1日に行われる社員大会で表彰し、資格取得を推奨している。

<保有資格一覧>

1級土木施工管理技士	20名	2級土木施工管理技士	10名	1級建築施工管理技士	8名
2級建築施工管理技士	2名	2級建築士	4名	1級建設機械施工技士	1名
1級造園施工管理技士	1名	2級造園施工管理技士	2名	1級舗装施工管理技士	1名
2級舗装施工管理技士	2名	コンクリート技士	7名	コンクリート診断士	2名
測量士	2名	宅地建物取引士	2名	建設業計理士1級	2名
建設業計理士2級	2名	看護師免許	2名	第1種衛生管理者	3名
技術士補	4名				

③ ハラスメント研修

ハラスメントアンケートの実施や、勉強会を継続的に開催し社員が安心して働ける職場環境づくりに取り組む。

④ 安全運転教育

富山県警察本部提供の「セーフティドライバーズ情報」を定期的に社内発信し、交通事故防止と安全意識向上を図る。

⑤ eラーニング

オンライン学習としてAirCourseエアコースを導入。1,000種類以上の動画視聴が可能であり、新入社員から管理職まで各階層で必要な知識・スキルの学習が可能。オンラインでいつでも動画を視聴できる。

(2) ダイバーシティ

当社は、性別、年齢、国籍に関係なく多様な人材が活躍できるための取り組みを行っている。

取り組み項目	内容
外国人材の活躍	技能実習生2名、特定技能2名、高度専門職2名が活躍。AI技術を活用し、業務の説明動画を作成することで多言語対応を行っている。一時帰国の際には特別休暇や補助制度を設けている。
社員寮の保有	本社に隣接する旧老人保養センターを購入し社員寮として活用。独身社員や技能実習生を対象に提供しており、安心して働ける生活環境の整備から人材定着を図っている。
子育て支援	2017年に「イクボス宣言」を行い、子育て世代に配慮した職場環境整備を推進。2024年には「えるぼし認定」「とやま女性活躍企業」、2025年には「くるみん認定」を取得。
健康経営の取り組み	健康で長く働くことができる企業となるため、経済産業省の「健康経営優良法人」を取得。2024年、2025年はネクストブライツ1000に選出されている。 協会けんぽの「健康企業宣言 (Step2)」認定を取得済。
柔軟な勤務体系	完全週休二日制、フレックスタイム制度、ノー残業デーの実施により働きやすい職場環境を整備し、多様な人材の活躍と定着を図っている。2020年には「働き方改革推進企業表彰」を受賞。



とやま女性活躍企業



くるみん認定



えるぼし認定



健康経営優良法人 2025
中小企業部門ネクストブライツ 1000



健康企業宣言 (Step2)



働き方改革推進企業表彰

(3) SDGs 宣言

当社は、2018年に幹部研修を行い、全従業員にSDGs研修を実施しSDGsの考え方の理解を深めた。環境への配慮、安心で安全な労働環境づくり、ICTによる技術革新など、当社の経営方針と重なる部分が多くあり、2019年にSDGs宣言を実施。

SDGs推進チーム「KUKULU」を発足し、古くなった作業服を回収して「古着でワクチン活動」への寄附や資源の分別などにも取り組む。



No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	<p>【目標】 全てにおいて安全を最優先し、無災害・無事故（休業災害ゼロ、公衆災害ゼロ、熱中症ゼロ）を目指す</p> <p>【主な取組み】 ・社内安全衛生パトロールや第三者による安全パトロール等を定期的実施する ・安全衛生管理システム（コンパクトコスモス）を浸透させる ・ICT施工を推進し、安全性を向上させる</p>	
2	<p>【目標】 廃棄物の削減に努め、環境に配慮した施工技術の推進</p> <p>【主な取組み】 ・各工事において、環境負荷の低減、環境保全への創意工夫を求める ・5S意識の定着、3R活動の実践 ・ペーパーレス化を推進する</p>	
3	<p>【目標】 新3K・新3Sを中心とする働き方改革で、誰でも平等に働き、安全・安心・快適な職場づくりとダイバーシティの推進（新3K=給料・休日・希望の持てる、新3S=smart, sustainable, safty）</p> <p>【主な取組み】 ・ICTの活用による業務効率化を促進する ・ワーク・ライフ・バランスを向上させる ・ハラスメント撲滅を推進する</p>	

(4) 地域貢献活動

当社は地域の維持・発展に貢献したいと考えており、地域との繋がりを重要視している。

① 富山県部活動応援企業登録

学校の部活動に対し財政的支援を行うことで、生徒の健全な成長や地域スポーツ・文化活動の振興に貢献する企業として富山県に登録。

② 黒部市消防団協力事業所認定

地域防災力の向上を目的に、消防団活動に積極的に協力し、消防団員が活動しやすい環境づくりに取り組んでいる事業所として黒部市より認定。



③ 地域清掃活動への参加

宇奈月公園清掃活動の参加や、地域の神社の祭礼前清掃ボランティアなど地域清掃活動を継続している。

④ 地域イベントへの参加

くろべフェアやこどもシゴト博など建設業やものづくりの魅力を将来世代にPRし、将来の担い手創出に一役買っている。

(5) 企業 PR

地域との関連性を深めると共に、地域での存在感を高め、社員がいきいきと働ける企業を目指し、積極的に企業情報を公開している。

当社の安全を最優先した取り組みや、社員の働く環境を通じて、新 3K「給与」「休暇」「希望」を重視した建設業界の魅力伝えていく。

また、採用活動の際に「会社のキャラクターがあれば魅力的に感じる」との就活生の声をきっかけに富山県出身のプロアニメーターに依頼しキャラクターを制作。工事現場ののぼり旗や工事看板としても登場している。



当社 X



当社 Instagram



業務の動画公開



高校企業説明会での VR 体験



自社キャラクター「えか」と「たんたん」

6. インパクトの特定

(1) インパクトレーダーによるマッピング

当社のバリューチェーン分析の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブ・インパクト及びネガティブ・インパクトの分布を調査。

当社の主要事業は、国際産業標準分類に則り、「建築工事業（4100）」「その他の土木工事業（4290）」を適用した。なお、他に当社の事業として、解体工事「解体業（4311）」、防水工事「その他の専門工事業（4390）」、温浴施設の管理運営事業「保健・教育・文化サービス及び社会保障を除くその他の社会サービス提供活動の規制（8412）」も該当するが、直近期での売上高構成比が10%未満と大きくないため、マッピングを省略している。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

国際産業標準分類	川上の事業								当社の事業				
	【1622】 建築用木材製造業		【4663】 建築材料卸売業		【0810】 石、砂及び粘土採取業		【3830】 材料再生業		【4100】 建築工事業		【4290】 その他の土木工事業		
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
インパクトカテゴリー													
社会													
水（入手）							◆◆						
食糧													
住居	◆		◆						◆◆				
健康・衛生			◆				◆	◆◆		◆	◆		◆
教育													
雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆◆	◆	
エネルギー	◆									◆	◆		
移動手段													
情報													
文化・伝統												◆	◆
人格と人の安全保障							◆◆				◆		
正義・公正													
強固な精度・平和・安定													
環境													
水（質）		◆		◆			◆◆	◆◆	◆◆		◆		◆
大気		◆		◆			◆◆	◆	◆		◆		◆
土壌							◆◆	◆◆					◆
生物多様性と生態系サービス				◆			◆◆	◆◆			◆		◆
資源効率・安全性		◆					◆◆	◆◆	◆		◆		◆
気候		◆		◆			◆		◆		◆◆		◆
廃棄物		◆		◆			◆◆	◆◆	◆		◆◆		◆
経済													
包括的で健全な経済	◆					◆					◆		◆◆
経済収束											◆		◆◆

■インパクトの検証

インパクトマッピングにおいて、当社事業と特に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「住居」「雇用」「包括的で健全な経済」「経済収束」、ネガティブでは「気候」「廃棄物」が挙げられる。

一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーでは、ポジティブで「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」「包括的で健全な経済」「経済収束」が、ネガティブで「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」「文化・伝統」「人格と人の安全保障」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。なお、「経済収束」「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「文化・伝統」については当社事業と関係が希薄のため分析対象外とする。

【社会・経済面】

当社事業のうち「土木工事部門」では、黒部川水域を主たる舞台とし、電源開発、河川護岸、砂防工事を中心に、地域の安心・安全を守る重要な役割を果たしている。日本有数の急流である黒部川流域といった国内屈指の過酷な環境で長年培った施工能力を有し、地域のインフラを守る企業として欠かせない存在である。

当社の事業領域は、交通の円滑化や水資源の管理、災害時の安全確保など生活に欠かせない社会インフラであり、地域の生態系を守る役割を果たしている。また、完成したインフラは長年にわたり利用されることから品質を重要な要素として捉えており、品質マネジメントシステムに関する国際規格である「ISO9001」を取得・継続することで、高品質な施工に努めている。

これらの取り組みより、地域において安心・安全な街づくりに貢献し、高品質な施工に取り組んでいる点で「**包括的で健全な経済**」におけるポジティブなインパクトの拡大に寄与している。

また、業界では先駆けてDX活用に取り組み、ICT建機、3Dスキャナ、ドローン測量などを積極的に導入することで、従業員の測量や点検における身体的、精神的リスクを減少させることで、「**健康・衛生**」におけるネガティブインパクトの抑制に寄与している。

「建築部門」では、消防署や交番、市民交流センターなどの公共施設、温浴施設、旅館などの観光施設、一般住宅などの地域住民の生活に密接に関わる建築物を数多く手掛けている。当社が手掛ける建築物の特徴は、地域の気候や風土や文化を活かした建築であり、自然光の取り込みや、冷暖房効率を高める空間づくりを通じて、利用する人へ快適な環境を提供している。これらの取り組みより、「**住居**」「**健康・衛生**」「**エネルギー**」のポジティブインパクト拡大に寄与している。

「**雇用**」に関しては、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクトが指摘されている。当社は事業全体を通じ、地域雇用を創出するとともに多様な人材を積極的に登用してダイバーシティを推進し、資格取得支援制度を活用した従業員のスキルアップや能力開発に取り組んでいる。働きがいのある職場環境づくりのため、「健康経営優良法人」、「ホワイト企業」、「えるぼし」、「とやま女性活躍企業」、「くるみん」など企業認定を取得し、多様な人材が活躍できる職場環境を整備している。これらの取り組みにより、「**雇用**」に関するポジティブインパクト拡大に寄与している。

また、建設業では労働環境の安全が第一優先に求められており、山間部や護岸、河川敷などの危険地帯での作業が中心である当社は、労働安全教育の厳格な実施を行っている。その実施に向けて、建設業労働安全衛生マネジメントシステム「COHSMS」の認定を受けており、協力企業と共にPDCAサイクルの運用に取り組むことで、「**雇用**」「**人格と人の安全保障**」のネガティブインパクトの抑制を図っている。

【環境面】

建築工事業や土木工事業では、作業工程において環境・生態系への悪影響が懸念される。そのため、当社では環境管理体制の構築に向け、環境マネジメントシステムに関する国際規格である「ISO14001」を取得・継続している。環境マネジメントシステム「ISO14001」に基づき、産業廃棄物の分別徹底による廃材の適切な処理、電気使用量の削減、排出ガス対応型・低騒音型の建設機械の導入、ペーパーレス化促進など全方位的に取り組んでいる。また、水資源においては、節水、排水処理の適正管理、水質への影響評価などを通じて水資源や生物多様性の保全を図っている。これらの取り組みにより「**水(質)**」「**生物多様性の生態系システム**」「**気候**」「**廃棄物**」のネガティブインパクト抑制を図っている。

(2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール

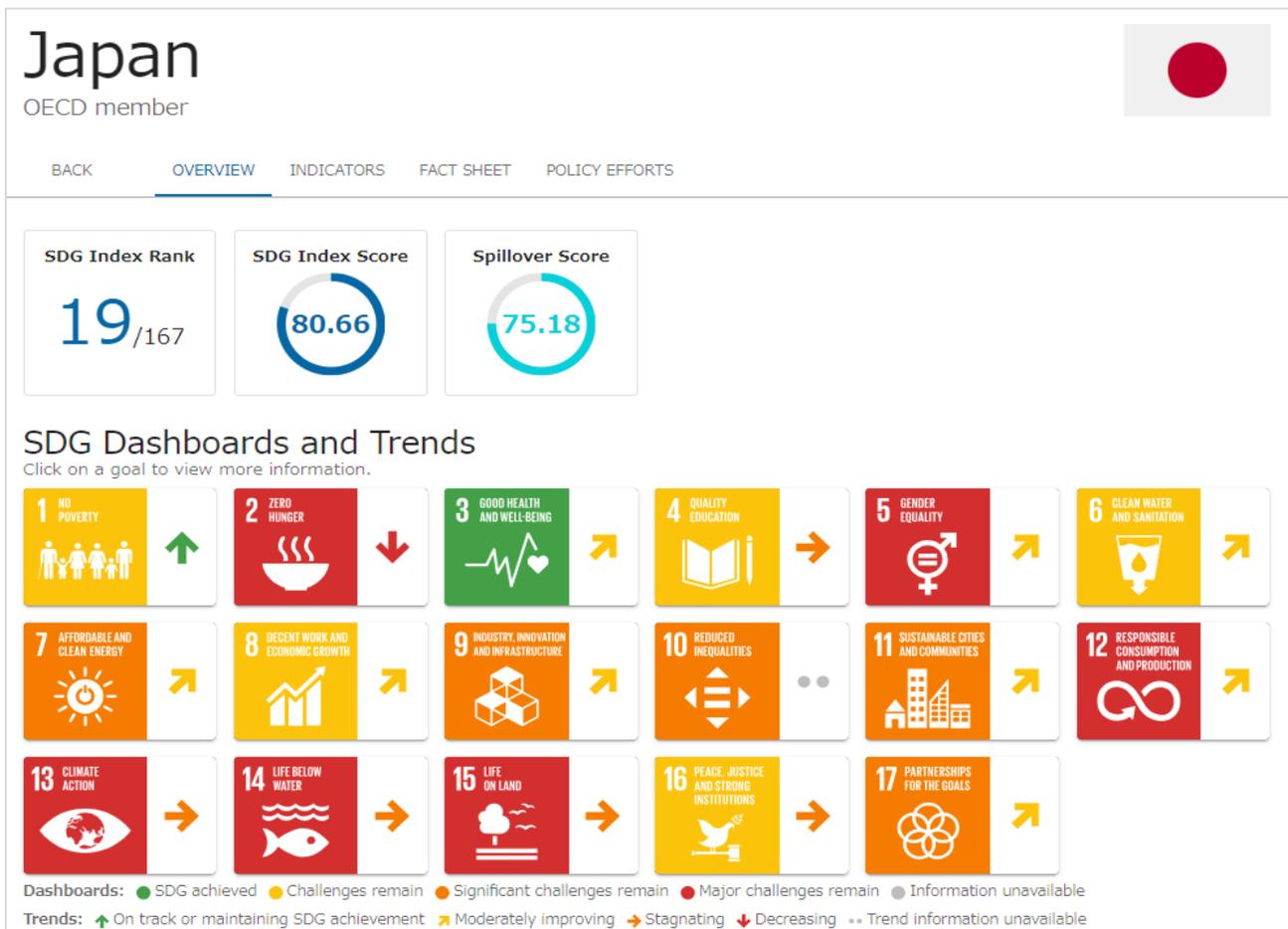
当社の売上高は全て日本における事業であり、日本の SDGs ダッシュボードから当社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高い SDGs のゴールは下記となる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク (SDSN) に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs のゴール 3 項目のうち、1 項目が大きな課題が残る、1 項目が重要な課題が残る、1 項目が課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が 3 項目中 3 項目該当していることから、日本における当社のインパクトは重要度が高いと判断できる。



(出所) SDGs ダッシュボード

(4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略の確認～

富山県は、約 4,248 km²の広さを有し、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。水深 1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から 3,000m級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かな多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業など各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を創造するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、基本目標 1. 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備、基本目標 2. 産業振興、若者の雇用創出、観光振興、県内への移住促進、基本目標 3. 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上、基本目標 4. 活力のあるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりを掲げている。

基本目標 4 の活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりにおいて、③持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくりでは、地域防災力の向上として、誰もがいつまでも安全で安心して暮らせる地域の基盤づくりの推進を掲げている。

当社は、地域インフラを担い、災害リスクの高い場所の防災工事を行い、地域安全基盤を強化している。当社の取り組みは富山県の目指す「持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり」に大きく貢献している。

また、職場環境の面では技能実習生の積極的な採用や、従業員のスキルアップ支援を積極的に続けており、基本目標 3 の多様な人材の確保と労働生産性の向上に寄与している。

基本目標 1 結婚・出産・子育ての 願いが叶う環境整備	基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、 観光振興、県内への移住促進	基本目標 3 若者・女性・高齢者など多様な 人材の確保と労働生産性の向上	基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・ 未来を担う人づくり
<p>① 結婚から子育てまで切れ目のない安心による少子化対策の推進</p> <p>(ア) 結婚・妊娠・出産支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○結婚を希望する男女の出会いの場の提供 やライフプラン教育の充実 ○若者・女性を中心とした移住・UJターン促進 ○妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備 <p>(イ) 家庭・地域における子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な保育・子育て支援サービスの充実 や子育て支援人材の育成 ○子育て家庭の経済的負担の軽減 <p>(ウ) 職場における子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進 <p>② 働き方改革を推進し、ゆとりある生活の実現による少子化対策の推進</p> <p>(ア) 長時間労働の是正や柔軟な働き方など働き方改革の推進</p> <p>(イ) 男性の家事・育児参加の促進</p>	<p>① 産業・地域経済の活性化</p> <p>(ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成</p> <p>(イ) 中小・小規模企業の振興</p> <p>(ウ) 企業立地等の促進</p> <p>(エ) 農林水産業の振興</p> <p>(オ) 環境・エネルギー産業の育成</p> <p>② 若者や女性が、働き続けられる魅力ある地域づくり</p> <p>(ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進</p> <p>(イ) 高等教育機関の魅力向上</p> <p>(ウ) 地域の魅力創生</p> <p>③ 観光の振興</p> <p>(ア) 選ばれ続ける観光地づくり</p> <p>(イ) 富山のブランドカアップ</p> <p>④ 移住・定住の環境づくり、応援人口の創出・拡大等</p> <p>(ア) 移住・定住の環境づくり</p> <p>(イ) 応援人口の創出・拡大</p> <p>(ウ) 多様な形態を通じた地域企業への人材の展開・選抜につながる取組み支援</p>	<p>① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり</p> <p>(ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり</p> <p>(イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成</p> <p>(ウ) 女性の再就職支援</p> <p>② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現</p> <p>(ア) 元氣な高齢者が活躍するための支援</p> <p>(イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出</p> <p>③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり</p> <p>(ア) 外国人材活躍の促進</p> <p>(イ) 多文化共生の地域づくり</p> <p>④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上</p> <p>(ア) 多様な人材の確保</p> <p>(イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成</p> <p>(ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上</p> <p>(エ) 産業の高次化・高付加価値化の支援を通じた労働生産性の向上</p>	<p>① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり</p> <p>(ア) 陸・海・空の交通基盤整備</p> <p>(イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり</p> <p>② 人生100年時代を見据えた人づくり</p> <p>(ア) 健康寿命の延伸</p> <p>(イ) 医療や福祉の充実</p> <p>(ウ) 教育力の向上</p> <p>(エ) 未来を拓く人材育成</p> <p>(オ) リカレント教育の推進</p> <p>(カ) 生涯にわたる学びの推進</p> <p>(キ) 「心の元氣」を醸成する文化の振興</p> <p>③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり</p> <p>(ア) 豊かで快適な環境づくり</p> <p>(イ) 安全・安心の確保</p> <p>④ 豊かで魅力ある中山間地域の実現</p> <p>(ア) 地域コミュニティの活性化</p> <p>(イ) 地域経済の活性化</p> <p>(ウ) 住民生活に必要不可欠なサービスの確保</p>

(出所) 富山県 第 2 期とやま未来創生戦略

(5) 黒部市におけるインパクトニーズの確認

当社の本社が位置する黒部市は、2018年に黒部市のまちづくりの総合的な指針となる第2次黒部市総合振興計画を策定し、基本構想に掲げる将来都市像「大自然のシンフォニー 文化・交流のまち 黒部」の実現に向け様々なまちづくり施策を推進してきた。2022年に前期基本計画が終了し、2023年より後期基本計画が策定され取り組みがなされている。

基本理念は「市民の参画と協働によるまちづくり」「みんなで作ろう黒部の未来」「みんなのチャレンジを応援し、住む人が輝き、人が人を呼び込むまち」を掲げている。急速に人口減少する中、地元定着や、子どもを産み育てやすいまちづくりを行い、将来にわたって活力ある地域社会の維持を目指している。

基本方針1~6の中で、当社の取り組みと合致する項目が多数ある。特に基本方針1「自然と共生し、安全で安心して暮らせるまちづくり」の②河川・海岸環境の保全と整備では、当社の土木事事業との関連性は高い。気候変動により豪雨災害が頻発し河川改修の必要性や、河川上流からの土砂の供給が海岸の浸食抑制に繋がっており、総合的な土砂管理の重要性が高まっている。また、下新川海岸は高波による越波や海岸浸食の被害が想定されており海岸保全施設の整備が求められている。これらに対して、河川事業、砂防事業、海岸事業で重点事業が定められており、当社の果たす役割は大きい。また、⑤脱炭素・循環型社会の形成では、再生可能エネルギー活用による脱炭素社会の実現が求められている。当社でも過去に小水力発電設備の建設・管理や、地中熱ヒートポンプの利活用、地熱発電の開発調査を行っており、再生可能エネルギーの利活用に係る関心は非常に高い。

基本方針2「地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり」では、②働き方改革・雇用の確保が掲げられており、当社の取り組みと合致する。就労・雇用機会の拡大を目指し、多様な人材が働きやすい会社の仕組みづくりに注力している。

当社においては地域のリーディングカンパニーとして、地域で求められる社会課題に応えながら、働き方など社会面においても積極的に様々な取り組みを行っていく。



(出所) 黒部市 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の策定

(6) インパクトの特定

- インフラ工事における品質、技術力の追求
- 環境負荷低減に向けた取り組みの強化
- 人材育成の強化と、働きがいのある職場環境づくり

(7) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや富山県のとやま未来創生戦略のニーズや方向性等を踏まえて、当社と特に関連性の高いインパクトを整理。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「インフラ工事における品質、技術力の追求」「環境負荷低減に向けた取り組みの強化」「人材育成の強化と、働きがいのある職場環境づくり」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「インフラ工事における品質、技術力の追求」では「1.地域社会の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」という観点で、「環境負荷低減に向けた取り組みの強化」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「人材育成の強化と、働きがいのある職場環境づくり」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取り組みの支援を目指す。

7. KPI の設定

● インフラ工事における品質、技術力の追求

当社は河川、海岸、ダム、砂防工事などに関わる土木工事が主力であり、地域の安心と未来を守っている。

“黒部川の防人”として、更なる ICT 施工、新技術活用、品質・安全に関する工夫を重ね、高品質な工事を行うことで安全性・耐久性の向上と、地域経済の循環と持続的な発展に貢献する。

項目	内容
インパクトの種類	経済面のポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「包括的で健全な経済」
対応する SDGs	
対応方針	・国土交通省工事における施工体制、施工状況、出来高及び出来ばえ、工事特性、創意工夫、社会性を向上させ、建設業界全体の技術力向上に貢献する
KPI	・2027年3月期まで国土交通省工事の成績評定点平均を毎年81点以上にする (2023年3月期実績：対象工事4件、平均点80.25点、2024年3月期実績：対象工事6件、平均点79.67点、2025年3月期実績：対象工事6件、平均点80.33点) ※2028年3月期以降の目標は改めて設定する

● 環境負荷低減に向けた取り組みの強化

当社は、2007年に環境マネジメントシステムに関する国際規格「ISO14001」を取得。自社の事業活動が環境に及ぼす影響を適切に管理することで環境負荷低減を目指している。

電気使用量の可視化、及び削減を通じて環境負荷低減を会社全体で強力に推進していく。

項目	内容
インパクトの種類	環境面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「気候」
対応する SDGs	
対応方針	・将来的に社屋や拠点の増設・移転を検討しており、電気使用量増加が見込まれる中でも、電力使用量の可視化、及び削減を行う
KPI	・2031年3月期まで2025年3月期対比電気使用量を年間3%ずつ削減する (2023年3月期実績：211,363kWh、2024年3月期実績：205,473kWh、2025年3月期実績：207,845kWh)

● 人材育成の強化と、働きがいのある職場環境づくり

当社は全従業員が働きがいもち、いきいき働ける職場環境を構築に向けてワークライフバランスの充実や、モチベーションの向上、健康保持・増進に向けた取り組みを強化していく。

建設業では人手不足が深刻な問題となっているが、当社では職場環境を整備し、多様な人材が活躍できる環境を整えることで今後も積極的な人材採用を行っていく。

項目	内容
インパクトの種類	社会面のポジティブインパクトの拡大 社会面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「雇用」
対応する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が安心して働き、その能力を十分に発揮できる職場環境を整備する ・ワークライフバランスの充実により企業の魅力を向上させ、雇用を拡大する ・資格取得支援による従業員の能力開発と働きがい向上を目指す ・労働安全教育の厳格な運用を徹底・継続する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①2028年3月期までに「ユースエール認定」を取得する ②2028年3月期までに従業員人数を76名以上に （2024年3月末69名、2025年3月末71名、2026年2月末72名） ③2031年3月期までに「1級土木施工管理技士」の人数を30名以上に （2025年3月末20名） ④重大労災件数ゼロを維持する

8. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役社長の大橋様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、専務取締役の大橋様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役社長 大橋 聡司
管理責任者	専務取締役 大橋 賢生
管理部署	管理本部

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が大高建設株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871